

授業科目 社会福祉総論

【担当教員名】 徳田 昭彦		対象学年	1	対象学科	健康
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	○		
【概要・一般目標：GI0】					
1 社会福祉の理念及び定義を学習し、社会福祉が国民の基本的人権のひとつである生存権の享有の保障に関係する制度・サービス等であることを理解する。					
2 戦後のわが国の社会・経済状況の変遷及び社会福祉の発展と改革の歴史を概観し、国民生活と社会福祉の関係を理解する。					
3 国民及び対人援助職への従事を目指す学生として、社会福祉制度の全般について基礎的な知識を身につける。					
【学習目標・行動目標：SB0】					
1 社会福祉の理念及び定義等を学習し、社会福祉が生活上の特定の問題を抱えた人たちに限定しない、国民のすべてを対象にした制度・サービスであることを理解する。					
2 戦後のわが国の社会・経済・国民生活の状況及び社会福祉制度・施策の発展及び改革の歴史を学習し、社会動向と社会福祉の関係を理解する。					
3 国民及び対人援助職への従事を目指す学生として、現行の社会福祉制度・サービス等の実際を学習し、実生活における社会福祉サービス利用に必要な知識を養う。					
回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	社会福祉とは何か 戦後わが国の社会福祉の歴史		講義 学生が社会福祉の自身の知識を確認する。敗戦からの立ち直り、高度経済成長期、経済危機、21世紀改革 事例を紹介し、		
2	生活困窮と公的扶助		講義 現代の貧困問題 生活保護制度 事例学習		
3	子どもと福祉		講義 子どもの権利 児童福祉法 児童虐待 事例学習		
4	高齢者と福祉		講義 高齢化問題 高齢者福祉サービス 事例学習		
5	障害者と福祉		講義 障害者とは 障害者福祉サービス 事例学習		
6	医療と福祉 地域福祉		講義 医療福祉とは 事例学習 地域福祉の形成 事例福祉の実際 事例学習		
7	社会福祉サービス利用者の権利擁護 社会福祉と財源		講義 権利擁護の仕組み 国の予算の仕組み 社会福祉関係予算		
8	まとめ		講義 社会福祉改革の必要性和特徴及び課題		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		社会福祉用語辞典(第9版)	山縣文治、柏女霊峰	ミネルヴァ書房	2013・2,200円＋税
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席回数・受講態度、リアクションペーパー成績、定期試験成績を総合し評価する。					